

高齢者でも受けられる “体に優しいインプラント治療”を確立

デジタル技術と唯一無二の技術と経験を武器に信頼集める歯科職人



皆さん、食事を楽しめていますか？

プラム四谷歯科クリニック

院長 安豊(李) 昌弘

人生100年時代。80歳、90歳と生きるのは当たり前、100歳超えもどんどん増えている。こうした中で、「食事が老後の一番の楽しみ」という人は多い。

しかし、「歯がグラグラ」、「歯がない」、「入れ歯が合わない」などといった理由から、食事を楽しむことができずに、ストレスを抱えて過ごす高齢者も世の中には大勢いる。

そんな人々の救世主的存在となっているのが、東京にあるプラム四谷歯科クリニックだ。同院には、「食事を思いっきり楽しみたい！」という希望をもつ高齢者が続々と来院。中には九州や関西、国外など遠方から訪れる患者も。

患者が求めるのは安豊院長の手掛けるインプラント治療。歯科医師になりたての頃からインプラントを数多く手掛け、開業後も最新の設備を揃えて実績を積み続け、今や同業歯科医師に技術や知識を教えるインストラクターとしても活躍。名実ともに日本のインプラント治療のトップを走る人物だ。

「私がインプラント治療を始めて25年程になりますが、その間にインプラントは驚くほどの進化を遂げました。今では体の負担を極力少なくした、体に優しいインプラント治療が可能になり、こうした治療を食事の楽しめていない高齢者の方々にぜひ受けていただきたいなと思っています」

安豊院長の歯科医師としての歩み、そして体に優しいインプラント治療について。多忙な合間を縫って様々なお話を伺った。

主に再生医療やインプラント、歯周病の知識と技術を学んだ勤務医時代
独立開院〜2025年4月から治療フロアを拡張

「先生のおかげで、食べたいものを何でも食べられるようになりました。本当に感謝しています！」。イン



患者とのコミュニケーションや信頼関係を大切に治療を進める

超高齢化社会の世相を表すかのように、プラム四谷歯科クリニックには現在高齢患者の受診が増えている。そして、相談のほとんどがインプラントに関する。『あそこのインプラント治療は凄く良かった』と、既存患者からの推薦・紹介で相談に訪れる人もここ数年増えてきているという。

こうして訪れる患者に対し、安豊院長含むスタッフ一同が何より大切にすること。それが、「患者との密なコミュニケーションと信頼関係」だ。「まずは患者さんの話をとことん聞きします。歯の現在の状態というのは見たり、検査をしたりで把握できますが、患者さんの歯の歴史というのとは聞きしなないと分からないものであると同時に、治療に置いて非常に重要なポイントになるのです」

信頼関係に関しては、「たとえばインプラントにおいて、患者さんが受け身でこちらに全て任せっきりなだけでは絶対に良い結果は生まれません。一緒に二人三脚で、治療を必ず成功させ

プラント治療後のメンテナンスに訪れた患者からの、喜びの声が院内に響き渡る。「治療後は治療前とは比べ物にならないほど、患者さんの表情や様子がイキイキと充実しているのです。インプラント治療をやった良かったなど、嬉しさが込み上げてくる瞬間ですね」

元来手先が器用で細かいものを見たり触ったりするのが好きだった安豊院長。将来を考える際は医師の道も考えたが、最終的には歯科医師の道を選んだ。「手先の器用さを活かせる点、それに一人の患者さんに対して診査、診断、治療プラン立案、治療、予防ケアと、最初から最後までトータルに診ることができるところに惹かれました」

歯学部卒業後は大学病院や開業医で、主に再生医療やインプラント、歯周病などについて知識と技術を学んだ。歯科医師として順調にキャリアを歩む中、次第に独立願望を募らせていく。「自分が描く理想の歯科医療を実現するための器材や人材は独立しなければ揃えられないなと感じました」

こうして2012年、プラム四谷歯科クリニックを開院した。場所は各線四ツ谷駅から徒歩で5分程のところ。人通りの多い立地であったことから、当初から多くの患者が来院し、すぐに人気の歯科医院へと成長していった。予防や治療など、幅広い世代の患者が訪れるクリニックはいつしかキャパオーバーとなり、このタイミングで安豊院長はフロアの拡張を決断。2024年5月から、元々の1階フロアを予防専用とし、同じ建物の8階フロアを治療専用のフロアとして再スタートを切った。「これまでよりも多くの患者さんに対応できる体制が整いました」

何より大切にするのは「患者との密なコミュニケーションと信頼関係」
インプラントができるか否かも検査で慎重に判断

るのだという、意識を互いに持つて進めていくことが成功の秘訣です」と話す。

さらに、「インプラントの治療計画を立てていく上で他に重要なのは、そもそもできるか否かという点だとも。

「インプラントの土台となる骨が浅かったり、薄かったり、歯周病や虫歯で治療が必要な状態であったり、高血圧や骨粗鬆症の薬を服用中であつたり、あとは高額な費用がハードルになったりなどと、患者さんが希望をされても種々の理由から断念せざるを得ないというケースももちろんあります」

しかし近年、安豊院長は、これまでインプラントを諦めざるを得なかった患者でも治療が可能となる独自のプログラムを確立した。それが、高齢者でも受けられる、体に優しい低侵襲インプラント治療だ。

適用ハードルが下がる “体に優しいインプラント治療” とは？ 身体的、時間的、費用的な負担の全てが軽減

安豊院長が、「これ以上の進化はないのではないか」と言えるほどに自信をもつ体に優しいインプラント治療。確立できた大きな要因は、これまでの経験の蓄積。そして、「デジタル技術の進化」だという。

「たとえばインプラントで必須の歯型取りも、従来はゴムの材質を患者さんの口の中に入れて行っていました。誤嚥を引き起こすなど負担の大きなものでした。それが現在はカメラで撮影しスキャン、3Dデータ化するだけで精密に歯型取りが行えるようになり、『しんどい』『苦しい』といった思いをしなくて済むようになったのです」

さらに、「撮影で得た精密な3Dの歯型をコンピューターで解析し、特殊なガイドシステムを駆使することで、インプラントを埋め込んでも問題のない箇所をシステムが正確に教えてくれます。これにより、イン

プラント手術の際、従来であれば歯茎を大きく切開しなければいけなかったものが、コンピューターが示した箇所にピンポイントに穴を空けるだけでOKになりました。結果、出血量、手術時間ともに大幅に軽減することが可能となりました」

そして、こうしたデジタルフル活用の治療により、「一日の内に埋め込み手術から仮歯の挿入までを完結することができるようになりました」という。「たとえば遠方の患者さんなら、手術をした当日は近くのホテルに泊まっていたら、次の日に状態を確認して問題なければお帰りいただけます。どんな方でもインプラント治療を無理なく受けられるのはデジタル技術のおかげでしょう」

身体的にも時間的にも負担が大幅に減ったデジタル駆使のインプラント治療だが、安豊院長は、「費用負担という部分でも昔に比べればリーズナブルになりました」とも。「歯科技工士さんの歯型作成の手間が減ったことで、費用もその分安く抑えることができました。値上げのご時世にあつて、この点も患者さんには嬉しいポイントではないでしょうか」

「ご予算、ご要望に応じて色んな形の治療法があることも知っていただきたい」 “オールオン4”、“オーバーデンチャー”という選択肢

安くなったとはいえ、一本数十万円と、高額であることには変わりはないインプラント。全て、あるいはほとんどの歯を失った人が治療を受けようと思えば埋め込み本数も増え、高額になってしまう。こうした中で安豊院長は、「ご予算、ご要望に応じて、色々な形の治療法があることもぜひ皆様に知っていただきたい」という。

プラム四谷歯科クリニックにおいて、特に実績が多いインプラント治療が “オールオン4” というもの。



様々な治療の中からベストなものを患者と一緒に考えて決めていく

のを、患者と一緒に考えて考え、決めていく。
「インプラントオーバーデンチャーでも、『入れ歯の時とは食事の時のストレスが全然違う。楽しめるよう

**インプラントは治療後の通院、セルフメンテナンスも非常に大事
「食事で困られている方はぜひ気軽に」ご相談に来ていただければ」**

になった」というお声を多くいただきます。入れ歯でお困りの方は一度ぜひ検討いただきたい治療法です」

プラム四谷歯科クリニックには、インプラント治療を終えてメンテナンスに通う患者が大勢いるが、安豊院長は、「治療と同じかそれ以上に、治療後の通院、セルフメンテナンスが大事。この点もインプラントを検討中の方に知っていただきたいポイントです」と話す。

「治療をして終わりではないということ。インプラントの歯は虫歯にはなりませんが、歯根膜がないため細菌が入りやすく、感染して周囲炎（歯周病のようなもの）を起こしやすい。そうなると最悪の場合、骨が破壊され、インプラントがグラグラになります」

せっかくのインプラントがダメにならないよう、定期的に通院してもらい、歯科衛生士による歯のクリーニングとチェックを実施。加えて、「患者さんご自身で毎日のお手入れを正しく行っていたことが大切です。挿入したインプラントをいつまでも良い状態で維持できるよう、患者さんと私たちの二人三脚で歩を進めていくということですね」

現在は年間70件程のインプラント治療を手掛け、治療後のケアで通う患者も年々増えてきている状態。「今後も、私の知識・経験を最大限患者さんに還元し、老後を元気に過ごしていただくサポートができればと思っています」と、前を見据える。

「分かりやすい変化としては、とにかく食事が楽しめるようになるというメリットですが、他にも歯が揃うことで、認知症や寝たきり予防など、健康寿命の延伸にも大きく寄与していきますので、歯がない方は積極

これは片顎に4本のみインプラントを埋め込み、それを支えに固定式の義歯を装着するという治療法だ。「インプラントの埋め込み本数が少ない分、手術時の負担が少なく費用も抑えられ、それでいて入れ歯よりも固定力が強く、固いものでもしつかり噛めるようになるといったメリットがあります」

また、「最近実績が増えてきている」というのが、「オーバーデンチャー」というもの。「これは数本のインプラントを埋め込み、それを支えに取り外し式の義歯を装着するという治療法です。費用はオールオン4よりもさらに抑えられ、入れ歯の欠点である付けた時のガタつきや違和感も抑えられるというメリットがあります」

こうした様々あるインプラント治療の中から、一人ひとりの患者にベストな

PROFILE

安豊(李) 昌弘 (やすとよ(り)・まさひろ)

1977年生まれ。東京都江戸川区出身。
 2001年、日本大学松戸歯学部卒業。同年、歯科医師免許取得。
 2001年、日本大学総合歯科診療学講座 入局。
 2002年、日本大学総合歯科診療学講座 助手。
 2004年、SJCD 原田歯科クリニック (千代田区) 副院長。
 2012年、プラム四谷歯科クリニック 開院。
 2018年、日本大学松戸歯学部再生歯科医療学講座 博士 (歯学) 取得。日本大学松戸歯学部非常勤講師。

所属・活動

国際口腔インプラント学会 認定医。日本顎咬合学会 咬み合わせ認定医。厚生労働省認定 歯科医師臨床研修指導医。日本大学松戸歯学部非常勤講師。DIO インプラント公認インストラクター。日本臨床歯科医学会 会員。OJ (Osseointegration study club of Japan) 正会員。日本口腔インプラント学会 会員。日本歯周病学会 会員。

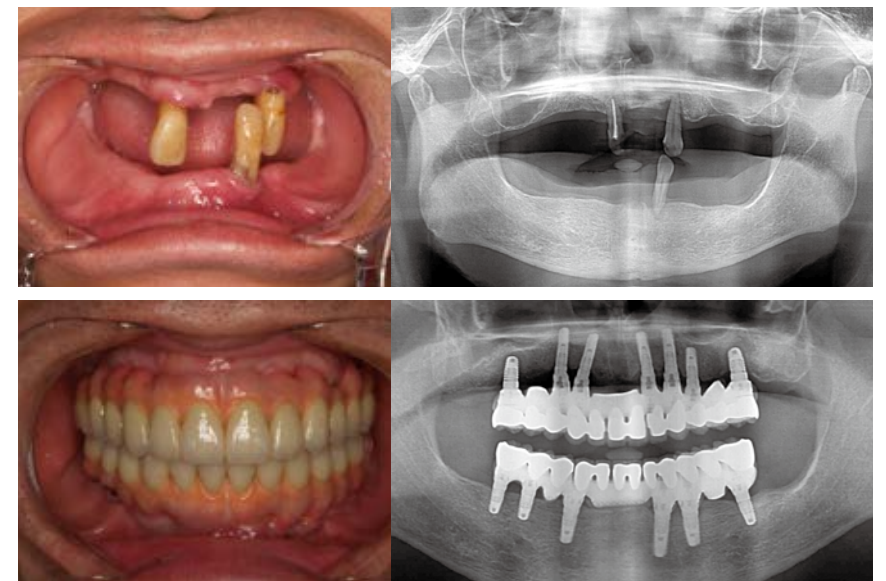
INFORMATION

プラム四谷歯科クリニック



URL <https://plum-dc.com/>

所在地	〒160-0004 東京都新宿区四谷2-4-1 ACN 四谷ビル 1F・8F TEL 03-3355-3718 FAX 03-3355-3719
アクセス	JR 総武線「四ツ谷」駅より徒歩5分 JR 中央線「四ツ谷」駅より徒歩5分 東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷」駅より徒歩5分 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」駅より徒歩8分
設立	2012年
診療科目	一般歯科、口腔外科、インプラント、矯正歯科、予防歯科、審美歯科
診療時間	〈月～金〉10:00～13:30、14:30～19:00 〈土〉10:00～13:30、14:30～17:00 〈休診日〉日・祝
理念	歯の悩みは人それぞれいろいろあると思いますが、その原因というのもそれぞれにいろいろあります。 「治したばかりなのに痛いな」 「問題ないと言われたがやっぱり気になる」 「歯ぐきから血が出るけど平気なのかな」 「どこで咬んでいいかわからない」 「あごがガクガクする」 「口の中全部がしみる」 「骨がやせすぎていてインプラントが出来ないと言われた」 決まりきった治療などないのです。個人個人に合わせた適切な治療をご提案いたします。一度相談にいらしてください。どんな悩みでも恥ずかしいと思わずに何でも話してみてください。当クリニックでは様々な検査をし十分にお話を聞くことにより原因を究明してまいります。皆様の悩みを少しでも改善できますように誠心誠意お手伝いさせていただきます。



同クリニックの患者症例 施術前(上) 施術後(下)

的な治療をおすすめしています」
 こう話す安豊院長だが、「最終的にどのような治療をしていくかはもちろん患者さんのご判断です」と付け加える。
 「歯がない場合の治療はインプラントに加え、入れ歯もブリッジもあります。3つにはそれぞれメリット・デメリットがありますので、それをしっかりとお伝えし、一緒に考えて決めさせていただくというスタンスですので、ぜひ一度気軽にご相談にお越しください」
 歯科医師として全国でもトップレベルの腕と経験をもつ安豊院長。柔らかな笑顔と気さくで優しい人柄がとても印象的だ。